

OMC事務局 〒560-0085 豊中市上新田4-16-1-33 合原一夫 TEL06-6833-9227
 広報編集局 〒573-1171 枚方市三栗1-18-20 前田茂夫 TEL072-850-5781

平成12年10月(2000年)No. 418

記念すべき第40回 OMC映像フェスティバル作品決まる

記念すべき2000年に第40回という輝かしい歴史を有するOMC映像フェスティバルは、今回、会場の都合で11月25日(土)難波市民学習センター講堂で行われますが、9月例会前に行われた世話役会で、次の通り上映作品が選定されました。今回は第40回ということで、前会長、小倉宝蔵さんの代表作「サバンナに生きる」と、同じく元会長川畑健二さんの「おくにさん」を特別上映し、先人の遺徳を偲ぶことにしました。

■上映作品 ①大山・若葉の頃：森口吉正6分、②あれから三十年：江村一郎6分30秒、③魍魎譚(もうりょうたん)：関剛2分40秒、④青春躍動す：河合源七郎7分、⑤都会のオアシス：安居良枝5分50秒、⑥ネパールの中のニッポン：西村光雄9分40秒、⑦下水物語：安居利次7分⑧尾瀬・追憶：有村博15分33秒<休憩>、⑨サバンナに生きる：小倉宝蔵15分、⑩おくにさん(テレシネ)：川畑健二20分、⑪ベルン：前田茂夫12分、⑫ニャン・オンステージ：安居充3分30秒、⑬夏・淡路花博：藤原純三13分、⑭観音像を彫る：那須典彦13分、⑮ご苦労さん：合原一夫。以上15本 午後1時～4時40分を予定。

DVデッキを準備しました

最近、DVテープを持参される方が多くなりましたが、デッキがないのでカメラ持参で不自由をおかけしてました。今回パナソニックの10000番を標準価格の凡そ半値で購入しましたので、どうぞミニでも標準カセットでもどしどしお持ちください(12ビットの場合は1か2かミックスか指定要)。

10月例会と作品研究会のお知らせ —10月15(日)午前中、うつぼ公園でミニ撮影会—

10月例会は、第4土曜日28日午後6時より、作品研究会は1時半よりあべの市民学習センターにて行います。季節もよい頃ですので多くの方のご参集をお待ちします。なお、うつぼ公園にて秋の新作彫刻展が行われていますので、上記日時にミニ撮影会を行い10月研究会のメインテーマにします。参加希望者は四ツ橋筋公園入口9時参集のこと。都合のつかない方は、別の日に撮影して持参されても結構です。

9月研究会のレポート

会場の都合で1週間遅れの例会となり、出席者の出足が懸念されましたが、14名の参加と8本の作品が出て、研究会としてはまずまずの盛会となりました。今月はOMC映像フェスティバル候補作品が3本出され、時間をかけて作品についての助言や感想なりが出て、良い作品に仕上げるために大いに参考になったことと思います。

■上映作品

①「ニースのカーニバル」関さん10分10秒。賑やかなカーニバルを撮ってこられ、ニースにもこんな華やかな祭があったかと知りました。作品としては現録でまとめてあり、いつもの関さんらしい切れ味とパンチの効いたBGMが聞かれず平凡な作品になったのは惜しまれます。映像祭発表作品にと持参されましたが、結局、別の作品を発表会に出すことになりました。

②「精霊送り」渡辺さん4分。ノンリニアによる処女作品ということで大変勉強になったという作品。遂に渡辺さんもノンリニア派になられた……。

③「ニャン・オンステージ」安居充さん、3分30秒。ダンシングプリンの改題ですが内容も一新して大変良くなりました。映像祭へ出品。

④「ネパールの中のニッポン」西村さん9分40秒。前作を手直しされて再持参、ならいがはっきりしてきて良くなりました。これも映像祭へ出品へ。

⑤「Rhythm & Passion」河合さん3分45秒。堺で行われたワッショイ2000の催しで南アフリカの楽団演奏を撮られたもの。3曲を1曲に編集して作ったと、早速研究会成果をうたった作品で楽しく拝見しました。

⑥「インザパーク」合原さん5分。他のクラブで女性モデルを使った撮影会作品。録音の入力オーバーの指摘あり。モデルの顔のアップが少ないとも……。

⑦「スイス旅行」有村さん5分11秒。スイスへ行かれたときの記録で、A地からB地へ移動する間、三脚を先送りしたので手持ち撮影になったと作者。移動の途中とはいえ、スイスの地方都市も美しく描かれていました。

⑧「CM」増池さん2分。西区の視聴覚室のビデオ教室の課題がCMだった由で「西区って」と「なにわ自慢」の2本にまとめられていましたが、1カットを3秒と決めて編集されたので動きのないスライド的な映像になっていました。テレビのコマーシャルをもう一度、要研究。

以上で3時半近くになり、引き続き世話役会に入りました。議題はOMC映像フェスティバルの作品選定の件で、前掲のとおり決定されました。

9月例会のレポート

今月は第5土曜日の開催となったためか、いつもよりやや少ない集まりの18名と作品10本ができました。司会は安居さん、書記は合原さん、デッキ係りは渡辺さん、受付兼照明係りは安居良枝さんと増池さんの担当で会を進行しました。

出席者：江藤、関、渡辺、安居夫妻、玉井、河合、合原、有村、増池、森、那須、前田、藤原、松本、江村、森田、中尾の18氏。

■上映作品（今月の講評は合原会長です）

1. 乱舞YOSAKOI 関 剛さん 5分45秒

高知よさこい祭りに有志数名で行かれたときの作品。現録はほんの一部に使用ただけで、大半がリズム感のあるBGMに合わせて関さんならではの編集タッチで、さすが関作品と思わせる仕上がりになっていました。

以前、江村さんの作品の汗のしたたる顔のあったのと比べて汗を出している女性が少ないという指摘もありましたが、汗の出ない化粧のせいとも。

- 2. オオシス** **安居 良枝さん** **5分50秒**
「都会のオアシス」の改作で、内容はかなり前作より良くなっていました。地下街の噴水や人工滝が主役ですが、ナレーションが多すぎるのでは、という指摘がありました。ナレーションは厳選して最小限にした方が画面から受ける印象を深めるかもしれません。タイトルも前作でよいと思います。
- 3. 青春躍動す** **河合源七郎さん** **11分50秒**
これも関さんと同じ高知よさこい祭りで撮った映像ですが、関作品とはまったく違った作り方をしておられます。トップシーンの花火が長いことや全般的に短くしたほうがかえて作品的には良くなるように思いました。再編集して7分以内で映像フェスティバル出品作として推薦されました。
- 4. ポルトガルの大地を行く** **合原 一夫さん** **13分17秒**
ポルトガル紀行シリーズの一つで、田園風景や田舎町を中心にまとめたもの。観光的なものと現地の人との交流部分と二つが混在しているので、後者だけに絞った方がよいのでは、という貴重なアドバイスがありました。一般ツアー客が行かないところの記録だけに、カットを大事にして構成を再度やり直してみたいと作者の弁。
- 5. 土佐の高知** **安居利次さん** **7分55秒**
この作品も関さん、河合さんと同じく高知よさこい祭りで撮られたものですが、これは安居さんらしくナレーションによる解説が入ったりして判りやすく作られています。同じテーマでも作り手によってこうも違うものかと勉強になりました。
- 6. 尾瀬・追憶** **有村 博さん** **13分33秒**
23年前と11年前に来た尾瀬と、今回の尾瀬行とを夫婦の立場で回想シーンもまじえて構成されています。過去のフィルム映像のテレシネ部分もそれなりに色も出ていて貴重な映像になっています。内容的には現在の尾瀬のシーンが大半で、追憶のテーマが薄いのが気ががります。題名としては追憶というより”尾瀬再び”といった感じのように思いました。
- 7. こいや祭り** **増池 茂さん** **6分10秒**
高知のよさこい祭りが大阪に飛び火して、大阪中之島と千里中央で、第1回こいや祭りが8月26日にあったそうで、作者は中ノ島公園の舞台の前に陣取って撮影されました。激しいリズムは本場と同じでした。アップの場面が少なかったのが残念でしたが、舞台撮影では制約が多くて難しいかもしれません。しかしロングとミディアムだけでは迫力が伝わってきません。
- 8. 富士憧憬** **森 保信さん** **6分50秒**
今春、有志がそろって富士周辺へ撮影旅行されたときの映像。富士山はどこから見ても美しい景観をされていてさすが日本一の富士山です。それだけにいざ映像を作ると成ると難しい対象かもしれません。作者は同行者からカットの提供を受け、それをかなり取り入れたまとめ方をされた由ですが、提供者の名前が作品の中に抜けていたので、提供者に礼を失するという指摘がありました。デジタルになって撮影会などでもよくカットのやり取りをしますし、儀礼的には一応作品の中に名前を入れるのが本筋でしょう。厳密に言えば夫婦など身内同士でも協力し合うことはありますし、撮影以外でもシナリオ段階、編集や録音段階でも協力して貰ったり、手伝ってもらうことがあります。建前からいえば、作品の中にその旨を表記するのが筋かもしれませんが、どれだけ気心の合った仲かということでも取り扱いが違ってきましよう。特に公開映写会へ向けた作品の場合、協力者が自分の名前を出すに及ばずとか、出さないで欲しいという例も多いので、ここは当事者同士の話し合いで決めればお互いに不愉快な思いをしないですみましよう。ですが建前からいえば出すのが礼儀でしょう。大変勉強になりました。

9. 観音像を彫る

那須 典彦さん

13分

先月作品研究会で提出された作品ですが、20分のところを13分に縮めて引き締まった良い作品に仕上がったと思います。欲をいえば彫る人の日常生活や考え方の声がでればという声もありましたが、那須さんには珍しいドキュメンタリーものとして立派な作品だと思います。映像祭出品作品。

10. あれから三十年

江村 一郎さん

5分50秒

6月例会で発表されたものを若干手直しされて持参されたもの。その分よく仕上がっていると感じました。これも映像祭出品作品。

以上で例会を終了し、二次会へと席を移しました。

■インターネット

先月24日東京アマチュア映像祭に出席してきましたが、その規模の大きさと観客の多さにビックリしました。挨拶された川上勝悟会長が云われるには今年の全国ビデオコンテスト入選作16本のうち、ノンリニア編集作品は6本でしたが、来年は恐らく過半数がノンリニアになるであろうというご宣託でした。インターネットへの取り組みは東京でもまだまだこれからという印象を受けましたが、ノンリニアの普及は全国的に急速に進むであろうと思います。OMC会員のネット発信取り組み状況は、元会員を含めて5名7サイトでURLは次の通りです。一つのクラブの会員(元会員を含めて)が5名、7サイトも開設しているのは、全国的にみても他に例はないのではないのでしょうか。一度ご覧になってください。

ビデオスケッチ (OMC関連) 管理者: 前田茂夫さん

<http://www.ne.jp/asahi/smaeda/12/>

映像散歩 (OVC関連) 管理者: 藤原純三さん

<http://www.os.xaxon.ne.jp/~fujihara/>

STOUT BEAR 管理者: 中尾雅博さん

<http://www.wht.mmtr.or.jp/~stbear/>

生きがいはビデオ 管理者: 安居利次さん

<http://www.cwo.zaq.ne.jp/bfaaz805/>

S L 讃歌 管理者: 前田茂夫さん

<http://www.vega.or.jp/~smaeda/>

ビデオラウンジ 管理者: 柴谷郁夫さん (元OMC会員)

<http://www.os.xaxon.ne.jp/~isv/>

シネマ通りビデオ街 管理者: 柴谷郁夫さん (元OMC会員)

<http://www.ne.jp/asahi/isdv/eizou/>

VIDEO 9月のインターネット例会作品紹介

「あれから三十年」江村 一郎作品 (画像をクリックしてください、スタートします。)

No	Real Video5.0	for 28K modem	1061KB 5分50秒
1			